



第33回上田八木・金融政策サーベイ(2020年1月)の結果について

～全回答者(158先)の94%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。3ヶ月先の金利予想では、全ての年限において「不変」と予想する先が前回同様大多数を占める結果となった。

2020年1月17日
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 全回答者(158先)の94%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。前回対比では「緩和」の見方が再び増加に転じ、昨年10月時点の水準に接近した。
- 3か月先の金利予想では、ON金利において「不変」と予想する先がやや減少した(91%→86%)ものの、前回に続いて大多数を占めた。
- 2年・10年国債の金利予想においても、前回に続いて「不変」と予想する先が約8割と大宗を占めた。

【調査の概要】

調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(176先)
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2020年1月14日～16日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	89.8% (回答者数158先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

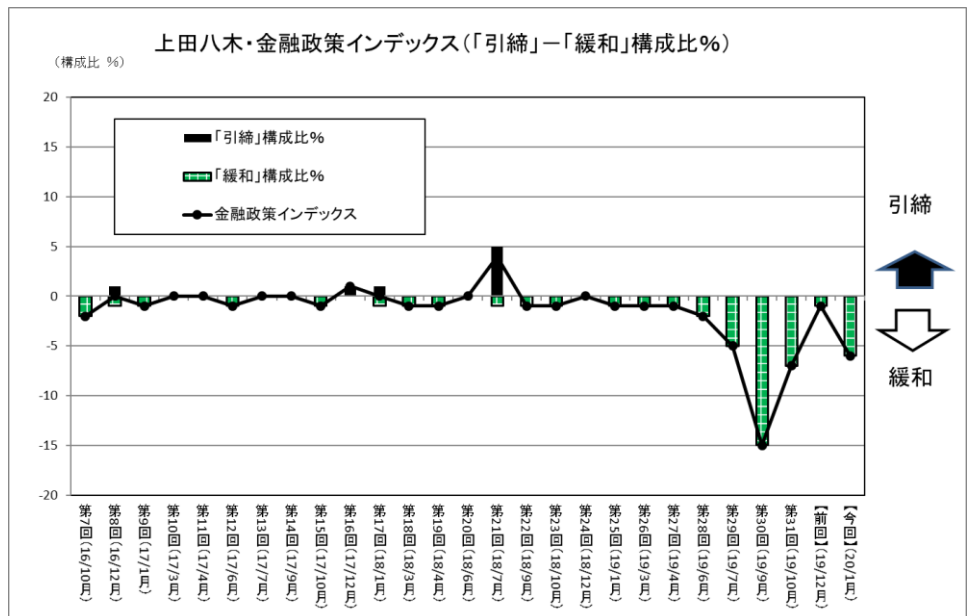
(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(1月20日～1月21日)における決定について

回答者の94%が「不変」の見方。「緩和」の見方は6%。「引締」は0%。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、「▲6」(前回は▲1)であった。

(ご参考)

【追加質問:Q5】注)



注): 追加質問:Q5については、現在見直しを検討中です

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

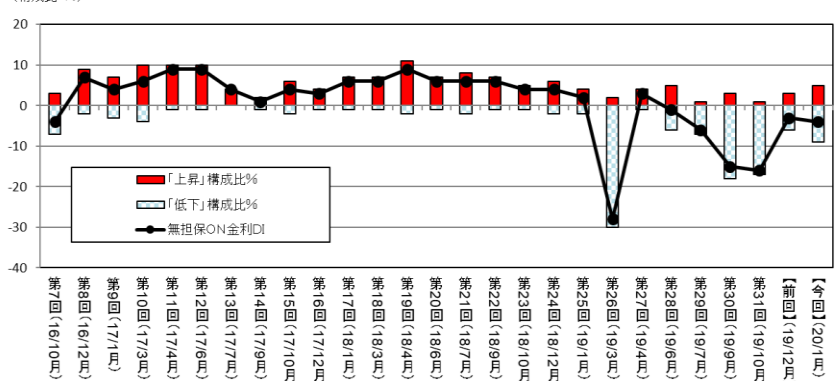
回答者全体の5%が「上昇」と予想、9%が「低下」を予想、「不変」とみている先は86%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+2%ポイント(前回3%→今回5%)。

「低下」とみる先は+3%ポイント(前回6%→今回9%)。

「不変」とみる先は▲5%ポイント(前回91%→今回86%)。

3か月先の無担保コールON金利(「上昇」-「低下」構成比%)



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

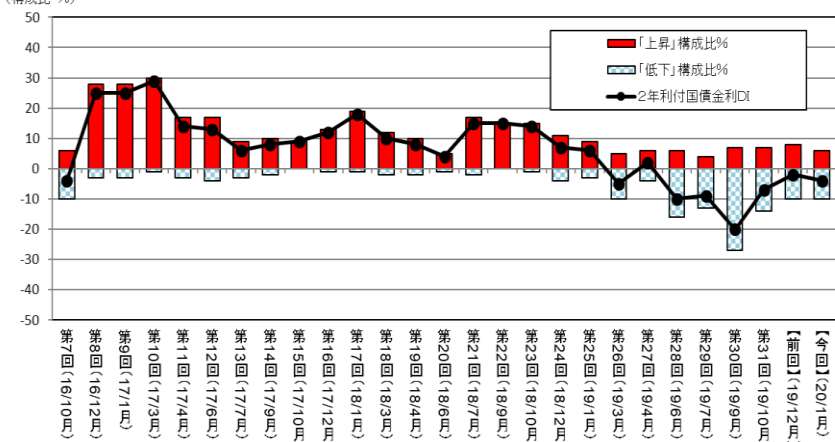
回答者全体の6%が「上昇」を予想、10%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は84%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲2%ポイント(前回8%→今回6%)。

「低下」とみる先は±0%ポイント(前回10%→今回10%)。

「不変」とみる先は+2%ポイント(前回82%→今回84%)。

3か月先の「2年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

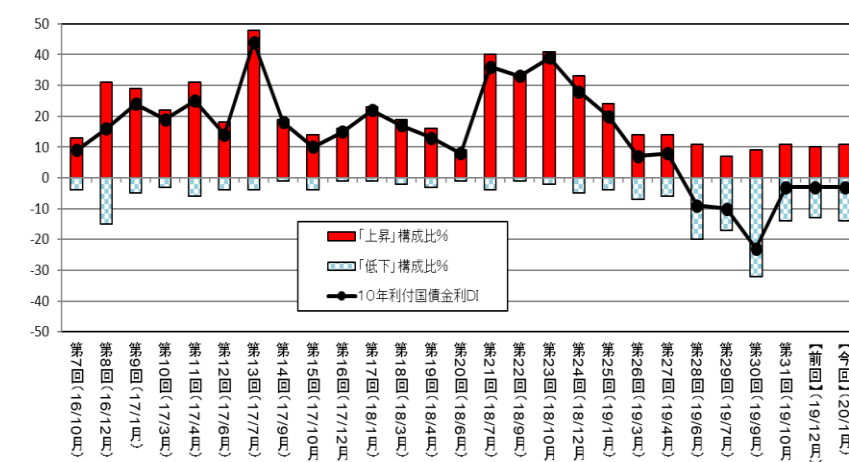
回答者全体の11%が「上昇」を予想、14%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は75%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+1%ポイント(前回10%→今回11%)。

「低下」とみる先は+1%ポイント(前回13%→今回14%)。

「不変」とみる先は▲2%ポイント(前回77%→今回75%)。

3か月先の「10年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



【本調査に関する照会先】企画部 島本、保元 (電話 03-3272-0293)